

研究彙報 (昭和64年・平成元年1月〜平成元年12月)

●特別展覧会

狩野芳崖

会期 二月二十八日(火)―四月二日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・京都新聞社

狩野芳崖の没後百年を記念し、彼の百四十余件の作品および資料を展観。

平城京展

会期 四月十八日(火)―五月二十八日(日)

会場 京都国立博物館本館

主催 京都国立博物館・奈良国立文化財研究所・朝日新聞社

平城京の発掘調査三十周年を記念し、出土品や伝世品、約八百点を展観。

●特別陳列 (▽印は毎年の定期的な陳列)

▽十二天画像と山水屏風 一月四日(水)―二月五日(日)

新館十一号室 担当 泉 武夫

東寺伝来の国宝「十二天画像」・「山水屏風」を陳列。

▽鉄斎と人物画 一月四日(水)―二月五日(日)

新館九号室 担当 金沢 弘

近代の文人画家、鉄斎の人物画を陳列。

▽高台寺時絵と南蛮漆器 一月四日(水)―二月五日(日)

新館十五・十七号室 担当 灰野昭郎

近世の時絵を代表する高台寺時絵と、ヨーロッパへ輸出された南蛮漆器を

陳列。

狛犬 一月四日(水)―四月九日(日)

新館七号室 担当 伊東史朗

最も日本的な展開を見せた平安時代後期・鎌倉時代の作例を展示。

▽古筆と手鑑 二月八日(水)―三月五日(日)

新館十三号室 担当 下坂 守

平安の王朝貴族の美意識を伝える「石山切」をはじめ、古筆・手鑑の名品

を陳列。

▽人形 二月二十三日(木)―三月二十六日(日)

新館十四・十七号室 担当 切畑 健

雛祭にちなみ、雛・嵯峨・賀茂・御所・衣裳人形を陳列。

釈迦金棺出現図と釈尊像 四月二十五日(火)―五月七日(日)

新館八号室 担当 泉 武夫

修理完成を記念し、釈尊像の名作とともに陳列。

美術に見る説話の表現 六月七日(水)―七月二日(日)

新館八・十七号室

社寺縁起を中心に、説話表現を伴う東洋の美術・工芸品を陳列。

▽新収品展 七月五日(水)―八月六日(日)

新館十二号室

昭和六十三年度に受贈・購入した十三件の作品を陳列。

京洛社寺の名宝 十月三日(火)―十一月十二日(日)

新館八・十三・十七号室

京都・宇治の社寺から寄託されている名品を陳列。

▽坂本龍馬の関係遺品 十一月十四日(火)―十二月二十四日(日)

新館十七号室 担当 稲田 和彦

幕末の志士、坂本龍馬の遺品を陳列。

●出版刊行

『狩野芳崖』 特別展覧会図録 二月

特別展覧会「狩野芳崖」の概説および各個別解説付総目録。A4版、総頁

数二四八頁、収録図版原色一五一図、頒価二千円。

『京都国立博物館図版目録 絵画編 中国・朝鮮・日本(桃山時代以前)』 三

月

昭和六十三年三月三十一日現在で当館保管の絵画部門のうち、中国・朝鮮と日本の桃山時代以前の作品、二三八件を収録。B5版、図版単色二三八

図、頒価四一〇円。

『京都国立博物館 学叢』第十二号 三月

当館職員による研究紀要。論文五篇、作品研究一篇、資料紹介二篇、研究随想、修理報告、研究彙報、英文概要などを収録。A4版。総頁数二二六頁、図版原色八図、単色一四〇図、頒価三千円。

『京都社寺調査報告』IX 三月

当館が昭和六十三年度に実施した京都社寺調査の報告書。智積院。A4版、総頁数九六頁、図版三五図。非売品。

『研究発表と座談会 仁和寺の仏教美術』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書十八冊 三月

昭和六十三年六月二十日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数四八頁、図版単色三二図。頒価九百円。

『平城京展』 特別展覧会図録 四月

特別展覧会「平城京展」の概説および各個別解説付総目録。変形B5版、総頁数一八六頁、収録図版原色一五八図。頒価千七百円。

『京洛社寺の名宝』 十月

特別陳列の図版目録 B5版、総頁数二二頁、図版原色四図、単色三四図。頒価三百円。

『研究発表と座談会 平城京における宗教美術の諸問題』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書十九冊 十二月

平成元年五月二十二日に行われたシンポジウムの報告。A4版、総頁数五〇頁、図版単色二三図。頒価九百円。

●シンポジウム

研究発表と座談会「平城京における宗教美術の諸問題」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会(代表 上山春平)

期日 五月二十二日(月)

会場 京都国立博物館

参加者 約百名

研究発表 京内寺院遺跡―薬師寺を中心として―(田辺征夫)、薬師寺金堂

薬師三尊像(伊東史朗)、奈良時代の祈りとまじない(金子裕之)

座談会(司会 森 郁夫)

●国内における調査研究

金剛峯寺蔵中尊寺経を中心とした中尊寺経に関する総合研究 担当 上山春

平・泉 武夫ほか

平安京条坊設定に関する復原的研究 担当 森 郁夫ほか

奈良・平安時代の武装形像の形式に関する基礎的研究 担当 伊東史朗

東洋染織美術史上における経錦から緯錦への転換に関する考察 担当 切畑

健

近世初期漢画諸派における朝鮮絵画からの影響について―雲谷派・曾我派の

場合― 担当 山本英男

銅鐸群の変遷 担当 難波洋三

万福寺の文化財調査 担当 西上 実ほか

清水寺の文化財調査 担当 灰野昭郎ほか

●海外における調査研究および出張

赤尾栄慶 一月三十一日―八月十八日(行先 中国・英国・仏国・オースト

リア・スウェーデン) 昭和六十三年文部省在外研究員として、「敦煌写

本」に関する調査。

狩野博幸 二月十五日―二月二十二日(行先 韓国) アメリカ合衆国) ア

メリカ大学美術史学会(CAA)に出席及び近世絵画の調査研究。

河原正彦 二月二十日―二月二十四日(行先 韓国) 韓国国立中央博物館

所蔵の日本陶磁の調査。

金沢 弘 三月十一日―三月十九日(行先 ベルギー) ルーバン市立美術

館における特別展覧会「富岡鉄斎展」開催打合せ

下坂 守 三月二十六日―三月二十九日(行先 台湾) 故宮博物院所蔵の

書跡資料の調査。

河原正彦 四月二十二日―四月二十四日(行先 韓国) 韓国国立中央博物

館所蔵の日本陶器の調査。

伊東史朗 五月八日―五月二十日(行先 西ドイツ) 中央アジア仏教美術

の調査。

狩野博幸 五月二十一日―五月三十一日(行先 アメリカ合衆国) フラン

ク・ロイド・ライト財団所蔵の日本絵画の調査。

若杉準治 九月十日―十二月一日（行先 スウェーデン・西ドイツ・イタリア
ア・スペイン・フランス・イギリス） 平成元年度文部省在外研究員とし
て「ヨーロッパ所在の日本の中世絵画及びヨーロッパの中世説話画」に関
する調査。

狩野博幸 九月十九日―十一月七日（行先 アメリカ合衆国） 「若冲展」の

展示指導（文化庁併任）

難波洋三 十月二日―十二月十七日（行先 パキスタン） 文部省科学研究
費（海外学術調査）によるガンダーラ仏教遺跡の総合調査。

伊東史朗 十月十日―十月二十四日（行先 アメリカ合衆国） 平成二年度

特別展「院政期の仏像」の出品文化財事前調査。

金沢 弘 十月二十七日―十一月四日（行先 ベルギー） ルーバン市立美
術館における特別展覧会「富岡鉄斎展」の出品文化財随伴。